

「市長記者会見」の概要

■日時 令和3年7月26日（月）午後1時30分

■会場 千曲市役所 庁議室・応接会議室

■報道出席者

信濃毎日新聞、ちくま未来新聞、(株)信州ケーブルテレビジョン、屋代有線放送、読売新聞、長野市民新聞

■質疑応答

【「千曲市余熱利用施設」ネーミングライツ・パートナーの募集について】

問 ごみ焼却施設は長野広域連合の施設だが、余熱利用施設は何故、千曲市の施設なのか。

回答 地元要望により建設する施設であることから、長野広域連合と協議・調整し、千曲市の施設として建設することとなった。

問 募集期間は4年10か月で年額120万円なので、5年分600万円を一括で支払うということが良いか。

回答 年額（120万円）を毎年支払っていただく。（総額で580万円）

問 命名権料の用途は。

回答 年間の想定管理経費から算出した額であるため、施設の運営経費に充てる予定。

【市政全般について】

問 7月6日の議会臨時会で副市長が選任されたが、副市長不在時と比べ市長はどのように感じているか。

回答 副市長就任により、ようやく千曲市の新体制がスタートすることができた。副市長不在時は業務を教育長、担当部長と手分けして行ってきたため、単純に負担が軽くなったこともあるが、一番は内部のまとめ役として行政経験の豊富な大内副市長に任すことができ、その上で私の方で指示を出せることから、通常業務に戻ったと認識している。

有事の際の災害対応についても、初動の長は副市長であることから、その面でも不安や負担は減ったと感じている。

問 場外車券場について、主張する女性の会から公開質問状が提出され、地域の活性化につながるのかという質問があったが、市長の考えは。

回答 先般の公開質問状については、現在回答を取りまとめていることから、この場での回答は差し控えたい。

終了 午後1時48分